



まつお新聞

発行所
飯田市松尾公民館
編集人
松尾公民館広報委員会
印刷：龍共印刷株式会社

向月台越しに銀閣を望む

平成26年 こんな年でした

- 文化祭「おぐねー トークライブ」
飯田の良さを実感！（2月）
- 「おわら風の盆 in 松尾」
900人が越中八尾の踊りに酔いしれる（4月）
- 親子映画鑑賞会
来場者の松尾記録達成（7月）
- 人形劇フェスタ 松尾地区公演
公民館ホール超満員！（8月）
- 松尾地区市民運動会
分館のプライドを懸けて（10月）
- 松尾の子どもは松尾で育てる住民大会
（地域安全大会）開催（11月）
- 鳩ヶ嶺八幡宮紅葉ライトアップ（11月）

探勝会 秋の古都名刹を訪ねる

11月9日、深秋の公民館探勝会は「京都非公開文化財の旅」と題して行われた。角田公民館長より「今日はおくまで研修ですので、皆さんも学ぶ気持ちで行動してほしい」とのあいさつがあり、40人の参加者は神妙な面持ちで「銀閣寺（慈照寺）東求堂の特別拝観へと臨んだ。一行はまず本堂から入り、堂内の襖絵を見学した後、東求堂の中へ。足利義政公座像が置かれている室内では、書院造として是最古とされる草庵茶室・書齋を見学。四畳半の茶室が現在の「四畳半」の間取りの始まりとの説明を受け

る。一行からは驚きの声。その後各自思い思いに境内を散策し、抹茶を味わうなどして楽しんだ。妙心寺三門の見学では、急な階段の昇り降りや、説明を聞くまでの待機に時間がかかり、急ぎ足での見学となった。旅の楽しみの一つ、昼食は新都ホテルでのバイキング。約100種類のメニューから各々好みの料理を楽しんだ。旅の話も盛り上がり、皆満足顔であった。



館長しらべ

日だまり歳時記

あけましておめでとございます。今年もよろしくお願いたします。今回は新春にあたり「初日の出」の俳句です。この句の原句は「アルプスの雲 紅色に初日の出」でした。前号掲載の句と同じく、栗津松彩子先生の添削で、ごらんのような鮮やかな句と生まれ変わりました。今年の初日の出を皆さんはごらんになりましたか？

季語【新年】

初春 正月 松の内 小正月 初空
門松 鏡餅 福寿草 初夢
成人の日 七種 初詣 初雀など
皆さんも季語を使って俳句をつくってみませんか。



人物さんぽみち 105

城 奥田哲也さん 28歳



前列左から5番目が奥田選手

アメリカンサッカーリーグ「フライデルフィア・フューリー」と契約し、ゴー

ルキーパーとして活躍中。小学生のころからサッカーを始め、プロチームに興味を持ち始めた。中、高、大学と年を経るごとにその気持ちが強くなり、一度は社会人としてアザリー飯田FCや、アンテロープ塩尻のチームに所属したが、今行かなければ必ず後悔すると思い、アメリカ行きを決心した。今、海外でプレーできる喜びを感じています。チームメイトとは時に言い合いいにもなりますが、拙い英語ではあるけれど、自分の意見をきちんと伝えることのできる関係を築けています。今後はリーグを目標し、コーチングライセンスの取得にも挑戦していきたい。さらに「家族をはじめ様々な人に支えられて今があることに感謝しています」と語った。次の契約も決まった奥田君。みんなで応援しよう。

松風

今年も松尾地区市民運動会が盛大に開催された。松尾の人口は1万3000人余り、東京松尾会

会長田中健一郎氏によれば、およそ3割にあたる3000人以上が参加する地区運動会は全国でも珍しいそう。松風子は特にそれを感じたことはなかったが運営に携わり一つの競技の参加人数が200人を超えるのを目の当たりにした時はさすがに驚嘆した▼昭和8年に始まったこの歴史ある運動会が、戦争で2度ほど途切れたものの廃れることなく続いていることに鳥肌が立つ。これほど区民の参加意欲を掻き立てるものは何だろうと考える▼松尾公民館は県で最初に設立された公民館で各種団体の活動も活発に行われている。運動会運営は毎年体育委員がよりよい運動会を目指し試行錯誤を重ね、その他役員は自らの役割を全うする。公民館と分館、区民が大変近い位置にあると思う▼以前史学会の秦野善彦氏が「松尾の人々には先見の明がある」と言っていたことを思い出す。市政懇談会や運動会開会式などで必ず斉唱される松尾村歌。始める「だけでなく、続いている」ことも松尾の誇りであると感じている。

松尾の人口

男子 6,146人
女子 6,911人
計 13,057人
世帯数 4,894世帯
11月末現在

両壁太鼓10周年記念公演

10月19日に両壁太鼓設立10周年の記念公演が、歌舞劇団田楽座を招いてコミュニケーションで行われた。

午前中は子供たちの太鼓体験教室を行い、30人余りの子供たちが初めて触れる太鼓を叩き楽しんだ。お昼には分館特製五平餅が振る舞われ、午後の公演を待ちわびて話に花が咲いた。その後の公演では、区民100人を前に堂々とした演奏が披露され、拍手が鳴りやまないほど盛り上がった。

田楽座の演奏・獅子舞などのお楽しみその後に行われた両壁太鼓と田楽座合同の「ぶち合わせ太鼓」は迫力満点であった。

「明区特有の何かを」と結成した両壁太鼓が10年続いてきて嬉しい。これからも若い人たちを中心に続けていきたい」と小林義仁会長は話していた。



見事なばちさばき

毛賀区

お腹まで響く

9月27日毛賀諏訪神社秋季例大祭が、盛大に行われた。早朝より神社境内にある倉庫から神輿を曳き出し、神主によるお祓いを受け、今年一年の実りへの感謝と祭の無事を願った。神輿は各集会所へ持ち帰り、組立を行い、きおい込みの準備をした。

昼過ぎよりきおい込みが始まった。子供たちは笛の音に合わせて大きな声で「わっしょい！わっしょい！」と掛け声をかけ、玉箱の横板が割れるほどの勢いで叩いた。きおい込んだ家の玄関先で、弥栄を願う大声で万歳三唱をした。

夕方には毛賀神社にきおい込み奉納煙火が始まった。区民は、壮大なナイアガラ・表情を変えて回る風車・毛賀区伝統の青白く光るぶどう棚・爆発音がお腹に響く迫力のスターマインに大満足の様子であった。



祭だ、わっしょい！！

「文化祭・芸能祭 各地で華やかに」

芸術の秋の11月、松尾地区では各分館で文化祭や芸能祭が行われた。

11月9日久井区芸能祭が久井集会所で行われ、区民150人が参加。3歳から90歳までの約90人が舞台上に立ち演目の披露をした。

今年には区役員と女性部が仮装ダンスをそれぞれに初披露し笑いを誘った。また保育園児3人によるユーモアたっぷり「妖怪体操第二」や大正琴による「銭形平次テーマ曲」など、多岐にわたる発表があった。



大好評だった大正琴の演奏

11月16日に文化祭が上溝集会所で行われ、作品展には洋画・水墨画・パッチワーク・木彫品などが出展された。また同日に併せて開催された敬老会芸能祭には80歳以上の高齢者が44人出席し、体操クラブの歌やダンス、カラオケなど、各種団体による芸能発表が行われた。子供獅子舞は可愛く優美に舞い練習の成果を見せ、帆秀会の舞いは華やかで勇壮、拍手喝采だった。

山内章幸高齢者クラブ会長は「100歳まで頑張りたい。区で長寿を祝ってくれて嬉しい」と笑顔で語った。

11月8日ミニ体育館で子供23人と大人5人が参加し行われた。

空気の流れを知る実験では、繋げて輪にした風船が回りながら浮いている様子を見て子供たちから大歓声が起こった。



可愛く優雅に 子供獅子舞

ふれあいひろば

10月25日サツマイモとホトトギスの収穫に親子20人が参加した。公民館実習室と和室にて「秋の収穫祭」を行い、大学芋ポップコーン・豚汁・ピーナッツライスを作り味わった。

*松尾サイエンススクール
11月8日ミニ体育館で子供23人と大人5人が参加し行われた。

空気の流れを知る実験では、繋げて輪にした風船が回りながら浮いている様子を見て子供たちから大歓声が起こった。

清水区

心を籠めて

9月13日鳩ヶ嶺八幡宮の秋季例大祭が行われた。今年清水区が年番区で、実行役員約50人が、4月より準備活動を行ってきた。

区長でもある恩田政雄年番長は「清水区は氏子連11地区の中で最も戸数が少なく微力で不慣れであり、派手さ・華やかさに欠けるかもしれないが、手作りで誠心誠意、心を込めて精一杯務めるという決意で、『心を籠めて』をテーマに全役員や区民が一丸となり活動してきた。無事に祭りが行えたのは、皆さんの理解と協力があったからこそである」と話した。

城區

ご神田稲刈り

9月27日秋晴れの日曜日の午後、鳩ヶ嶺八幡宮にしろ縄奉納するご神田の稲刈りを城區区民約70人が参加し行った。

8時ごろ神田に4台のバインダーが投入され40分程で刈り終えた。はざ掛けは人海戦術で、半数以上の人は作業初体験。見よう見まねで立派なはざが何通りもできあがった。

10月中に脱穀とワラ選り、12月6日と7日にしめ縄作りを行い、作られたしめ縄は7日の午後に本殿に奉納された。



年番区若衆の心意気

9月27日秋晴れの日曜日の午後、鳩ヶ嶺八幡宮にしろ縄奉納するご神田の稲刈りを城區区民約70人が参加し行った。

8時ごろ神田に4台のバインダーが投入され40分程で刈り終えた。はざ掛けは人海戦術で、半数以上の人は作業初体験。見よう見まねで立派なはざが何通りもできあがった。

10月中に脱穀とワラ選り、12月6日と7日にしめ縄作りを行い、作られたしめ縄は7日の午後に本殿に奉納された。



城區民参加のご神田稲刈り

親子でケーキ作り

八幡町区

11月26日八幡町区では、2回目となる親子お菓子教室を八幡町公会堂で開催し、親子や女子高生など27人が参加した。八幡町の分館長で松寿堂の店主でもある黒田誠さんの指導で、クリスマスケーキ作りを行った。

最初に講師が作り方を見せ、6つのグループに分かれて生クリームを泡立てから始めた。スポンジは準備した物を使い、横半分に切り、クリームをぬり、うすく切ったいちごを並べスポンジでサンドする。周りをクリームでコーティング。子供たちも慣れない手つきで思い思いの飾り付けを楽しんだ。講師の助けを借りながら、プロ顔負けのクリスマスケーキができた。

11月26日八幡町区では、2回目となる親子お菓子教室を八幡町公会堂で開催し、親子や女子高生など27人が参加した。八幡町の分館長で松寿堂の店主でもある黒田誠さんの指導で、クリスマスケーキ作りを行った。

最初に講師が作り方を見せ、6つのグループに分かれて生クリームを泡立てから始めた。スポンジは準備した物を使い、横半分に切り、クリームをぬり、うすく切ったいちごを並べスポンジでサンドする。周りをクリームでコーティング。子供たちも慣れない手つきで思い思いの飾り付けを楽しんだ。講師の助けを借りながら、プロ顔負けのクリスマスケーキができた。



手作りケーキのできあがり

常盤台区

旬の食材を食べよう!!

10月7日集会所で常盤台区いきいき教室が開催された。今回は高齢になるにつれ起こりうる低栄養を防ぐことを目的とし、市の山田千歳菜

養士による栄養指導を兼ねた調理実習を行った。

献立は「さつまいもご飯」「青菜のごま辛子和え」「豚汁」。旬の野菜を使うことで高血圧や糖尿病などの生活習慣病を予防できると説明があり、いよいよ実習へ。

調理も終盤を迎え、改めて「一日3食バランスよく食べ、欠食を避けましょう。特に年を取ると不足しがちな肉・魚など良質のたんぱく質も十分に取り、まめに体を動かし、会食の機会をつくり楽しくおいしく食べることを心がけましょう」との話があった。また低栄養が続くと、免疫力の低下や筋力、体力の衰えを来す、それに伴い気力や運動能力も衰え、転倒や骨折、認知症を誘発しやすいとも。

その後会食しながら旬の味覚を堪能した。



お肉もたっぷりね！！

10月7日集会所で常盤台区いきいき教室が開催された。今回は高齢になるにつれ起こりうる低栄養を防ぐことを目的とし、市の山田千歳菜

養士による栄養指導を兼ねた調理実習を行った。

献立は「さつまいもご飯」「青菜のごま辛子和え」「豚汁」。旬の野菜を使うことで高血圧や糖尿病などの生活習慣病を予防できると説明があり、いよいよ実習へ。

調理も終盤を迎え、改めて「一日3食バランスよく食べ、欠食を避けましょう。特に年を取ると不足しがちな肉・魚など良質のたんぱく質も十分に取り、まめに体を動かし、会食の機会をつくり楽しくおいしく食べることを心がけましょう」との話があった。また低栄養が続くと、免疫力の低下や筋力、体力の衰えを来す、それに伴い気力や運動能力も衰え、転倒や骨折、認知症を誘発しやすいとも。

その後会食しながら旬の味覚を堪能した。

年賀状展作品募集

年賀状展が開催されます。1月10日までに松尾公民館（松尾城401番地1）へ郵送または持参してください。多くの作品をお待ちしています。

公民館の主な行事予定 (1月・2月)

- 【1月】
11日(日)松尾地区成人式
31日(土)松尾地区文化祭
- 【2月】
1日(日)松尾地区文化祭
下旬 まけるな農園



まわってます

運動会得点結果表

種目別														総合			戸数割						
分館名	傘	ツーンショット	早く結んで	ムカデ競走	パン食い競走	なわとび	あわてて	むかで	パワー	クイズ	リレー	役員	合計	順位	戸数	戸数割点	順位	分館名	戸数割点	順位			
上溝	18	34.5	10	51	17	24	30	30	35	10	25	5	289.5	2	221	1.31	1	明	302.5	1	上溝	1.31	1
久井	12	25.5	4	18	6.5	15	5	20	15	15	15	5	156.0	11	162	0.96	4	上溝	289.5	2	清水	1.31	2
水城	12	47.5	8	24	10.5	5	25	20	5	0	40	15	212.0	7	246	0.86	7	代田	278.5	3	寺所	1.30	3
新井	16	29	12	52.5	13	7	20	30	5	20	30	15	249.5	4	283	0.88	5	新井	249.5	4	久井	0.96	4
寺所	18	42.5	6	24	17.5	40	10	5	15	10	20	20	228.0	5	175	1.30	3	寺所	228.0	5	新井	0.88	5
明	28	32.5	2	36	13	26	25	15	40	30	30	25	302.5	1	377	0.80	8	八幡町	214.0	6	八幡町	0.88	6
清水	12	12	6	12.5	6.5	32	20	10	5	30	35	20	201.0	8	154	1.31	2	水城	212.0	7	水城	0.86	7
城	10	19.5	2	19.5	19.5	18	15	5	25	20	20	10	183.5	10	339	0.54	10	清水	201.0	8	明	0.80	8
八幡町	20	35	8	16.5	4.5	25	30	25	5	10	25	10	214.0	6	243	0.88	6	毛賀	197.0	9	代田	0.71	9
代田	14	33	12	34	15.5	20	15	25	25	15	40	30	278.5	3	395	0.71	9	城	183.5	10	城	0.54	10
毛賀	24	9.5	10	3	18.5	32	5	10	15	10	35	25	197.0	9	463	0.43	12	久井	156.0	11	常盤台	0.51	11
常盤台	18	9.5	4	14	5	1	10	15	15	5	15	30	141.5	12	278	0.51	11	常盤台	141.5	12	毛賀	0.43	12

10月12日

松尾地区市民運動会

総合優勝 戸数割優勝

明区 上溝区

応援コンテスト

- △元気がいっぱい賞………毛賀分館
- △ユーモアいっぱい賞………寺所分館
- △そろっていたで賞………久井分館
- △区民と一緒に盛り上がったで賞………常盤台分館

小木曾博人 大会長より



快晴無風の秋空に恵まれ、今年の市民運動会も熱戦が繰り広げられました。歴史と伝統のあるこの市民運動会が、実行委員の皆さま始め、大勢の皆さまのご協力・ご参加により盛大に開催できましたことに、感謝申し上げます。

平栗理 体育委員長より



素晴らしいお天気の中運動会が開催できたこと、参加して頂いた皆さまのご協力により大成功に終わりましたことに感謝申し上げます。今大会は、スムーズな進行ができ、役員の方々の努力の賜物でした。ありがとうございました。

優勝明区 土屋秀文 分館長より



台風19号の影響もなく、市民運動会は開催されました。5日間の練習の成果を出すため、選手、役員共に努力し燃えました。「総合優勝」「綱引き優勝」と目標を達成することができ、慰労会も盛大に行われました。明区の明日は明るいです！



練習通り、うまくいった

まだまだふんばる

よ〜いドン！！ゴール目指してまっしぐら

入ったあー



この人私についてこれるかしら？

ゴールテープを切るのは、この私

いっぱいはいれ！

いくわよ！！落ち着いてね〜



ほい、跳べ〜

あわてんように結んでや

とったぜ！

俺に、ついて来い



ヒーローは俺だ！！

抜けるもんなら抜いてみる！！

手が震えてくじがつかめないよ

初代副市長やってきました！

リニア開通に向けてGO！

松尾の子どもは松尾で育てる住民大会

夢、挑戦、そして 人とのつながり

11月1日緑ヶ丘中学校体育館で、松尾の子どもは松尾で育てる住民大会(第6回)が開催され、約600人が参加した。主催は子供に関わる各種団体で構成された大会実行委員会。牧野市長も出席しての大々的な開催となった。第1部は、松尾小学校金



白石康二郎さん「夢に向かって進んでいこう」

管バンドと緑ヶ丘中学校吹奏楽部、合唱部によるアトラクションが行われ、定番から最新のヒット曲「One Love」のありのままの「なごに会場の人々は魅了され聴き入っていた。

メインとなる第2部は、海洋冒険家の白石康二郎さんを講師に「夢、挑戦、そして人とのつながり」という演題で講演が行われた。聴衆を引き込む明るく気さくな人柄で、迫力あるヨット操船の映像や自身の生い立ちを振り返り、抱いた夢と挑戦そして挫折を経験しつつも、いかにして単独無寄港無補給世界一周を実現させたのかを語った。そして「家族、先生、恩師など人生の中で出会った人とのつながりがあり、厳しさや愛を教えてくれたからこそ今がある」とも。講演を通して、小中学生には、夢に向かって挑戦し進んでいくことの

ヒントを与え、大人へは大きな夢を描く子供への関わり方を学ぶ機会を与えた。大会の終わりには、次代の松尾を担う健全な青少年を育成する旨の大会宣言が確認された。

おぼろげ交流

婦人会が松ぼっくりの子供たちと交流会！

9月10日松尾公民館和室で婦人会と松ぼっくり(松尾児童館)の1年生から3年生との交流会が行われた。この企画は「松尾の子どもは松尾で育てる」の理念の下、婦人会活動目標「子育て支援」の一環として毎年実施されている。開催日が秋の彼岸に近いこともあり「おはぎ」を子供たちに振る舞った。午前中より大奮闘で作ったおはぎを皆で食べながら会は順調に進み、子供が手



平岡ダムの上で

子あいま 親れ教

飯田線に乗って 平岡ダムを見に行こう!!

11月2日総務企画委員会の新企画で親子ふれあい教室が行われ、3家族大人4人子供9人が参加、スタッフを含め19人の旅となった。

伊那八幡駅を8時58分に出発、天竜峡駅で乗り換え秘境駅を見ながら平岡駅まで。日曜

日だというのに乗客も多く、座席の確保にひと苦労した。9時55分に到着し、徒歩で平岡ダムへと向かった。約30分程で到着、管理センターでプロジェクトによるダムの歴史や仕組みの説明を受けてから実際にダムが開通した」とのことであった。

平岡駅に戻った一行は、構内の龍泉閣で昼食や温泉を楽しんだ後13時38分発の電車に乗り着いた。次に向かったのは「なんでも資料館」で、ここには飯田線や平岡ダムの歴史、造った人たちの写真などが展示されていた。板倉恒夫

師に、堤防を水神橋の少し先まで説明を受けながら歩いた。講師によれば、今から300年程前、島田村(現在の松尾)と天竜川を挟んだ対岸の伊久間村・虎岩村・知久平村が境界の争いをしてたが、弁天島が境の決め手となり、元文四年の弁天公

市政功労者表彰式



永年の功績に感謝状

10月1日、県公民館において、市政の各分野で顕著な功績のあった個人や団体を表彰する市政功労者表彰式が行われた。松尾地区からは、自治会

長・まちづくり委員会会長を永く務めた功績により宮下吉彰さん(久井)が、また、民生児童委員として福祉委員を永く務めた功績により、清水正則さん(明)と伊澤皆子さん(新井)が、牧野市長から表彰された。また、松尾地区まちづくり委員会は下久堅地区まちづくり委員会と竜丘地域自治会と共に、緑ヶ丘中学校の教育振興のため楽器類を寄附したとして、松尾地区まちづくり委員会単独では松尾小学校の教育振興のため小学校備品を寄附したとして、それぞれ感謝状が授与された。

交通安全大会

松尾オリジナルビデオで啓発



松尾地区で一番事故が多い交差点なので

啓発ビデオで危険箇所を示す清水嘉彦交通安全全部副部長

まちづくり委員会交通安全全部主催、壮年会共催の交通安全大会は11月29日に住民約130人が参加して松尾公民館ホールで開かれた。緑ヶ丘中学校合唱部の美しい歌声で開会。鈴木幹夫交通安全全部部長、来賓・原竜也松尾駐在

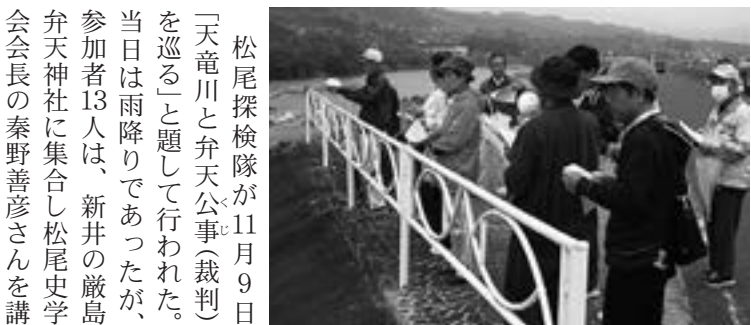
所長あいさつに続いて、交通安全全部が制作したオリジナルビデオが初上映された。松尾地区内の事故の多い交差点が映し出され、高齢者が犯しやすい危険行動などが紹介されると、出演者も顔見知りとおあって参加者は当事者意識を持って見入っていた。同部では、大勢の協力でできたこのDVDを各学区で活用し、安全意識の高揚につなげてほしいとしている。

次に、交通心理士の岩下要司さんが講演。注意力の衰え、非注意性盲目に陥る恐ろしさを体験した。また、時速50キロで1秒間に進む距離14メートルを測ると巻尺がホルルの横いっばいに伸び、驚きの声が上がった。さらに交通安全事故遺族や加害者遺族の思いが紹介され、さだまさしの曲「償い」が流れ、涙を拭きながらしみみりと聴き入る姿も。最後に県交通安全教育支援センターの2人が嫁姑に扮した寸劇で、シートベルトや反射材の正しい使用を訴えた。参加者は「被害者にも加害者にもならない」思いを強くし、有意義な大会となった。



真心こめて

松尾探検隊 堤防を歩きながら 歴史をひも解く



説明に聞き入る参加者たち

松尾探検隊が11月9日「天竜川と弁天公事(裁判)を巡る」と題して行われた。当日は雨降りであったが、参加者13人は、新井の嶋島弁天神社に集合し松尾史学会会長の秦野善彦さんを講師として話を聞いた。角田公民館長は「古墳などがどんどん風化されていく状況だ。こんな事があつたと若い人たちに伝えていくことが義務ではないかと思う」と話した。